

第9回企画展 テーマ展示 近代国家制度の形成 ②

# 子規・真之の青春

2015年2月24日(火)~2016年2月14日(日)

**休館日**

毎週月曜日  
(休日の場合は開館)

**開館時間**

午前9時00分~午後6時30分  
(入館は午後6時まで)

**観覧料**

一般 400円(320円)

高校生 200円(100円)

高齢者(65歳以上) 200円(160円)

※中学生以下は無料 ※()内は20名以上の団体割引料金



Shille

当時の東京大学予備内正面  
後年一喜とらつた

挿絵/画:下高原健二 所蔵:石川武美記念図書館

坂の上の雲ミュージアム

SAKA NO UE NO KUMO MUSEUM

# 子規・真之の青春



東京改良演芸会之図 (早稲田大学坪内博士演劇博物館提供)

明治政府が創設した近代教育制度は、士族の反乱や自由民権運動など時代のうねりを受け、その様相を変化させていきました。当初掲げられた自由な教育は改められ、次第に国家の統制が及んでいきます。

松山中学校では、初代校長・草間時福のもとに開明的な教育が行われ、その自由な校風に惹かれて多くの若者が学びました。しかし、正岡子規・秋山真之が入学するころには規制が強まり、若者たちはより良い教育を求めて上京の夢を抱くようになります。



上京記念写真(中段、向かって左から3番目が子規) (松山市立子規記念博物館提供)

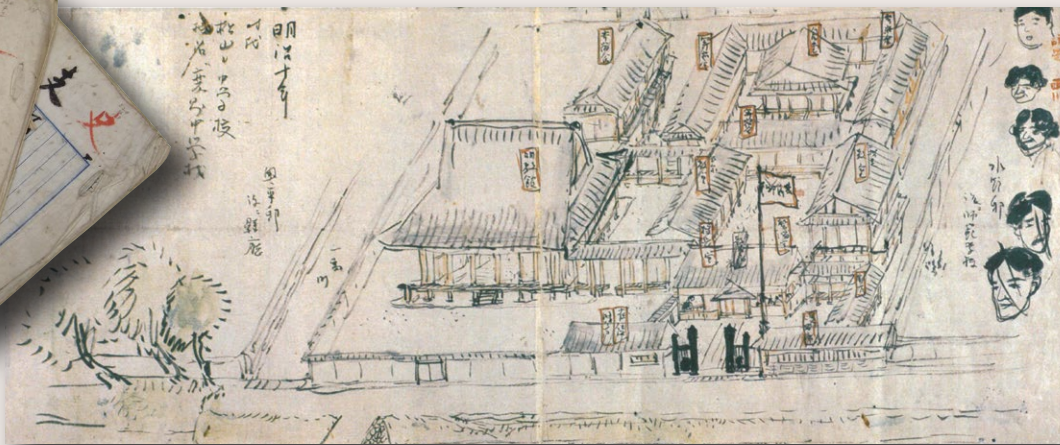
1883(明治16)年に上京した子規・真之は、共立学校などの学校で勉学に励み、東京大学予備門に入學します。東京には、全国から優秀な若者たちが集まり、彼らは、勉強だけでなく、寄席などの娯楽や野球のよゆうな新しいスポーツに触れ、近代的な東京の文化を満喫しました。彼らは書生とよばれ、その熱気あふれる活動は、独特な文化を生み出します。

今回の展示では、子規・真之の青春時代の教育や生活、人びととの交流をみていくなかで、書生とよばれた明治の若者たちの実像に迫ります。



左/正岡子規筆 講義ノート(法政大学図書館所蔵)

右/下村為山画「北予変則中学校」(正宗寺所蔵)



## 坂の上の雲ミュージアム

SAKA NO UENO KUMO MUSEUM

〒790-0001 愛媛県松山市一番町三丁目20番地 TEL 089-915-2600 FAX 089-915-3600

E-mail:saka-museum@city.matsuyama.ehime.jp URL:http://www.sakanouenokumomuseum.jp/

アクセス

- ・JR松山駅から [所要時間約10分] 市内電車(道後温泉行) 大街道下車 徒歩2分
- ・道後温泉から [所要時間約10分] 市内電車(全線) 大街道下車 徒歩2分
- ・松山空港から [所要時間約30分] リムジンバス(道後温泉行) 一番町下車 徒歩2分
- ・松山観光港から [所要時間約30分] リムジンバス(道後温泉行) 一番町下車 徒歩2分
- ・松山自動車道松山インターから [所要時間約20分]

